

【ディプロマポリシー】(学位授与の方針)

建築学科では、建学の精神と教育の目的に即して、持続可能な社会を実現する未来志向の建築を設計・生産できる次のような建築家や建築技術者を育成することを目標としています。

1. 豊かな人間性と総合的なデザイン力を持ち、地域社会や地域環境に貢献できる建築専門家。  
(豊かな人間性と総合力のある技術者)
2. 国内外における建築技術の伝統を引継ぎ、発展させる、実践的な建築専門家。  
(実践力のある技術者)
3. 人間と環境の時代に向けて、確かなデザイン力とチャレンジ精神のある建築専門家。  
(チャレンジ精神のある技術者)

そして、本学科の学生が卒業までに身につけるべき具体的な知識・能力として、次の学習・教育到達目標を定め、これを達成するための授業科目を履修し、具体的に明示された評価方法に基づき厳格な成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与します。

1. 豊かな人間性と総合力のある技術者として(A)～(D)の能力を身につける。  
(A)環境問題を理解し意匠設計ができる(意匠設計力)。  
(B)建築計画を理解し図面作成ができる(図面作成力)。  
(C)構造設計を理解し構造計画ができる(構造計画力)。  
(D)構造力学を理解し構造解析ができる(構造解析力)。
2. 実践力のある技術者として(E)～(G)の能力を身につける。  
(E)建築倫理がわかる(建築倫理解力)。  
(F)生産管理がわかる(生産管理理解力)。  
(G)環境設備がわかる(環境設備理解力)。
3. チャレンジ精神のある技術者として(H)、(I)の能力を身につける。  
(H)チームで課題解決ができる(課題解決力)。  
(I)新しいことに挑戦できる(チャレンジ力)。

【ナンバリング付番ルール】

≪総合科目・外国語科目≫

<百の位> 1

<十の位> 開講年次を記入 開講年次 1～4 の場合、1番低いものに合致す。 ※1～4:1, 2～4:2

<一の位> 人間性・社会性科目群: 1 地域性・国際性科目群: 2 課題設定・問題解決科目群: 3 表現・スポーツ・健康活動科目群: 4 専門基礎・自然科学科目群 5 「～Ⅰ」:6 「～Ⅱ」:7 外国語共通(海外語学研修):8

≪専門科目≫

<百の位> 工学基礎科目: 2 専門科目: 3 卒研・卒研ゼミ: 5

<十の位> 1年:1 2年:2 3年:3 4年:4

<一の位> 前期科目: 1 後期科目: 2 \* 通年科目(卒業研究):1

| 科目区分 | 科目名   | 開講年次  | 単位  | 必修選択の別 | 学習・教育目標及び到達目標  | 1   |     |     |     | 2   |     |     |     | 3   |     | ナンバリング |     |     |    |     |
|------|-------|-------|-----|--------|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|----|-----|
|      |       |       |     |        |  | (A) | (B) | (C) | (D) | (E) | (F) | (G) | (H) | (I) | (J) | 百の位    | 十の位 | 一の位 | 合計 |     |
| 総合科目 | 哲学    | 1～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】自律の力を養う。<br><br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 授業で紹介された哲学者の基本的な立場を理解できる。<br>2. その考え方に対する自分の意見を述べることができる。<br>3. 毎時間ごとに示されるキーワードをよりどころとして、自分は周囲の環境や人々そして自分自身をどのようにとらえているのかを再確認できる。                 | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     |     | ○   |        | 1   | 1   | 3  | 113 |
| 総合科目 | 心理学   | 1～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】心理学がとらえてきた「心」の仕組みや働きを理解する。<br><br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 講義の中でとりあげた基礎概念を、実例を用いて説明する。<br>2. 日常の事象をこれらの基礎概念の実例として紹介する。   | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     |     | ○   |        | 1   | 1   | 3  | 113 |
| 総合科目 | 日本国憲法 | 1～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】憲法の根底にある基本原理を理解することを通じて、政治参加主体となるために必要な基礎的知識を修得させる。<br><br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 統治構造の運営上生じる憲法問題を正確に理解できる。<br>2. 重要な憲法裁判例の事実関係およびそこにおける憲法上の争点を把握したうえで、国家行為の合憲性について推論し、結論に至るまでの論理を説明できる。 | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     |     | ○   |        | 1   | 1   | 3  | 113 |

| 科目区分 | 科目名        | 開講年次  | 単位  | 必修選択の別 | 学習・教育目標及び到達目標  | 1   |     |     |     | 2   |     |     |     | 3   |     | ナンバリング |     |     |    |     |
|------|------------|-------|-----|--------|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|----|-----|
|      |            |       |     |        |  | (A) | (B) | (C) | (D) | (E) | (F) | (G) | (H) | (I) | (J) | 百の位    | 十の位 | 一の位 | 合計 |     |
| 総合科目 | 人権論        | 1～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】人権保障の根底にある価値理念を理解することを通じて、人権感覚、規範意識を修得させる。<br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 人権保障の根底にある価値理念を理解できる。<br>2. 上記価値理念が個別具体的事案においてどのように実現されているか、または実現されるべきかを、対立する諸見解をふまえて説明できる。   | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |        | 1   | 1   | 3  | 113 |
| 総合科目 | 経済学        | 2～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】<br>【到達目標】  | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |        | 1   | 1   | 5  | 115 |
| 総合科目 | 政治基礎論      | 1～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】日本国憲法の統治構造の根底にある基本原理を理解することを通じて、政治参加主体となるために必要な基礎的知識を修得させる。<br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 日本国憲法の統治構造の根底にある基本原理を理解し、この原理が具体的な統治構造にどのように反映されているかを把握できる。<br>2. 政治運営の中で生じる人権問題の解決法について、実例をあげつつ説明できる。   | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |        | 1   | 1   | 3  | 113 |
| 総合科目 | ことばと文化     | 2～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】<br>【到達目標】  | ○   |     |     |     |     |     |     |     | ○   |     |        | 1   | 2   | 5  | 125 |
| 総合科目 | 日本語の技法     | 1年次   | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも必要とされる文章作成能力を養うことを目標とする。<br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 自分の考えや伝えるべきことを、書き言葉で的確に表現する能力を養う。<br>2. レポート作成や論文作成で、卒業後の実社会でも日t賞とされる文章作成能力を養うことを目標とする。<br>3. 自分の日本語表現力を各テストにて自覚し、論理的な文章を書くために基礎的な事柄を学習していく。 | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |        | 1   | 2   | 1  | 121 |
| 総合科目 | 人間と文化      | 1～4年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】主に時事問題を題材にして、読解力を高め、関連する知識を増やし、考察し、自分の意見が発表できることを目標とする。<br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 現代社会における注目の時事問題に関する知識を得る。<br>2. 文章表現、構造を学び、大学生にふさわしい読解力を身につける。<br>3. 不可情報について収集し、考察し、大学生にふさわしい自分の感想、意見をもち発表できる。  | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |        | 1   | 2   | 3  | 123 |
| 総合科目 | 東広島学       | 1～4年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】東広島市の郷土の宝、歴史やまちづくりについて学び、さらに、本科目にあるフィールドワークを通じて社会活動の重要性や地域貢献の必要性について学ぶ。<br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 東広島地域の歴史・現在と将来計画について理解し、現在、本市が抱えている問題・本市が進もうとしている方向、本市の有する資産、産業、福祉、教育、文化等幅広く学習する。<br>2. 各学科で行う専門教育の基礎的な知識・考え方を身につける。                                 | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |        | 1   | 2   | 3  | 123 |
| 総合科目 | 国際経営論      | 2～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】<br>【到達目標】  | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |        | 1   | 2   | 5  | 125 |
| 総合科目 | グローバルキャリア論 | 2～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】<br>【到達目標】  | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |        | 1   | 2   | 5  | 125 |
| 総合科目 | キャリアデザイン   | 1～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】望ましい職業観を育成し、適切な進路選択を自律的に行いうる能力の伸長をはかる。<br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 進路についての情報を主体的に探索する。<br>2. 自らの特性を理解し、それを進路に適切に関係づける。<br>3. 自らの進路を自律的に計画し決定しようとする姿勢・態度をもつ。<br>これらの目標への達成度の評価は、授業時間内課題(20%)、4回の課題レポート(各15%、計60%、メールへの添付ファイルとして提出)により総合的に行う。              | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |        | 1   | 3   | 3  | 133 |
| 総合科目 | 職業の理解      | 2～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】<br>【到達目標】  | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |        | 1   | 3   | 5  | 135 |



| 科目区分  | 科目名     | 開講年次  | 単位  | 必修選択の別 | 学習・教育目標及び到達目標  | 1   |     |     |     | 2   |     |     |     | 3   |     | ナンバリング |     |     |    |   |     |
|-------|---------|-------|-----|--------|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|----|---|-----|
|       |         |       |     |        |  | (A) | (B) | (C) | (D) | (E) | (F) | (G) | (H) | (I) | (J) | 百の位    | 十の位 | 一の位 | 合計 |   |     |
|       |         |       |     |        | 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 生物学の基礎を学ぶ。<br>2. 身近な生命現象を知り理解すること。<br>3. 生命と環境との相関について思考し、説明できる基礎を身につけること。   |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |     |     |        |     | 1   | 6  | 3 | 163 |
| 総合科目  | 情報リテラシー | 1年次   | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】Microsoft Office Word/Excel/Power Pointの基礎的な操作方法に加え、大学生活だけでなく社会生活においても必要とされる情報活用能力を養成する。<br><br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. Microsoft Officeアプリケーション(Word/Excel/Power Point)の基本的な操作方法を身につける。(ビジネス文章の作成、関数やグラフを使った表作成、スライドによる資料作成レベル)<br>2. コンピュータの構成などIT基礎知識の習得と、インターネットのメリットデメリットを理解し、適切な利用方法を身に付ける。<br>3. eラーニングを活用し、自らアプリケーション操作に関するスキルアップを図る。 |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |     |        |     | 1   | 6  | 1 | 161 |
| 総合科目  | 図学      | 1・2年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】「図面の見方、読み方、並びに作成」を重点的に学習し、製造業における「経営幹部、スタッフ」又は工業系の「教職員」にとって必須のスキルである「図面の解読、作成」を習得する。<br><br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 「中小企業診断士」の試験に係わる当該分野をクリアする。<br>2. 国家検定(厚労省)「製図技能士」に係る動機づけ。  |     | ○   | ○   |     |     |     |     |     |     |     |        |     | 1   | 6  | 2 | 162 |
| 総合科目  | 物質の科学   | 2～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】<br>【到達目標】  |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |     |        |     | 1   | 6  | 5 | 165 |
| 総合科目  | 工学特講    | 2～3年次 | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】<br>【到達目標】  |     |     |     | ○   |     |     |     | ○   |     |     |        |     | 1   | 6  | 5 | 165 |
| 外国語科目 | 英語A I   | 1年次   | 1単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を養成する。<br><br>【到達目標】<br>受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 基礎的な語彙力を身につける。<br>2. 基礎的な文法力を身につける。<br>3. 継続的に自学自習する週間を身につける。  |     |     |     | ○   |     |     |     |     |     | ○   |        |     | 1   | 5  | 1 | 151 |
| 外国語科目 | 英語A II  | 1年次   | 1単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を養成する。<br><br>【到達目標】<br>受講者はこの授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. TOEICテストの出題形式に慣れ、パートごとに的確に対応できる。<br>2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察できる。<br>3. 基礎的な語彙力・文法力を身につけ、TOEICのPart 5 & 6問題に対応できる。<br>4. 英語読解能力を身につけ、TOEICのPart 7に対応できる。<br>5. 継続的に自学自習する習慣を身につける。<br>6. TOEICのスコアを英語運用能力定着の1つの指標とし、300点を到達目標とする。                                    |     |     |     | ○   |     |     |     |     |     | ○   |        |     | 1   | 5  | 2 | 152 |
| 外国語科目 | 英語B I   | 1年次   | 1単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。<br><br>【到達目標】<br>受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. TOEICテストの問題形式に慣れ、的確に問題に対応できるようになる。<br>2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察する力を養う。   |     |     |     | ○   |     |     |     |     |     | ○   |        |     | 1   | 5  | 1 | 151 |





| 科目区分 | 科目名        | 開講年次 | 単位  | 必修選択の別 | 学習・教育目標及び到達目標  | 1   |     |     |     | 2   |     |     |     | 3   |     | ナンバリング |     |     |    |   |     |           |
|------|------------|------|-----|--------|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|----|---|-----|-----------|
|      |            |      |     |        |  | (A) | (B) | (C) | (D) | (E) | (F) | (G) | (H) | (I) | (J) | 百の位    | 十の位 | 一の位 | 合計 |   |     |           |
|      |            |      |     |        | 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。<br>1. 行列の階数を求めることができる。<br>2. 消去法で連立1次方程式を解くことができる。<br>3. 固有値・固有ベクトルを求めることができる。<br>4. 行列の対角化ができる。  |     |     |     | ○   |     |     |     |     |     |     |        |     | 2   | 1  | 2 | 212 |           |
| 専門科目 | 応用物理学      | 1年次  | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】安全性思想と結びついた構造解析能力を身につける。<br>建築生産における管理プロセスの基礎的理解能力を身につける。<br>自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。<br><br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. あらゆる科学は実験科学であること、物理学の基本法則が普遍的であることを知っている。<br>2. 力学の基本法則：第1法則、第2法則、第3法則を説明できる。<br>3. 自由落下の運動方程式を書き下すことができ、一般解を求めることができる。<br>4. 力積、仕事、運動エネルギーの定義を説明できる。<br>5. 熱力学の基本法則を知っている。<br>6. 熱伝導率の定義を書き下すことができる。 |     |     |     | ○   |     |     | ○   |     |     |     |        |     | 2   | 1  | 1 | 211 |           |
| 専門科目 | 建築プログラミング  | 1年次  | 1単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】環境設備がわかる。<br>構造力学を理解し構造解析ができる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. プログラミングの基本を理解できる。<br>2. ベクトル・マトリクスの演算ができる。<br>3. 連立1次方程式を解くプログラムの作成ができる。<br>4. 簡単なソフトウェアの作成ができる。   |     |     |     | ○   |     |     | ○   |     |     |     |        |     | 2   | 1  | 2 | 212 |           |
| 専門科目 | 建築図法       | 1年次  | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。<br><br>【到達目標】<br>1. 図面から立体が想像できるようになり、アイソメ・透視投影図法の消点図法が理解できる。<br>2. 外観の陰影図法、室内の透視図法が理解できる。  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     | ◎   |    |   |     | 3 1 1 311 |
| 専門科目 | 造形演習       | 1年次  | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 造形に関する基礎知識を得ることができる。<br>2. 創造的素養を身につけることができる。<br>3. 自分の意思を物理的な形によって伝えることができる。<br>4. 自分の意思を物理的な形で表現する能力を育てることができる。   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     | ◎   |    |   |     | 3 1 1 311 |
| 専門科目 | 建築CAD・CG演習 | 3年次  | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1) CAD/CGの基礎知識を得る。<br>2) CADによる簡単な図面を描画でき、建築基本設計図面を描画できる。<br>3) 3DCADによる簡単な建物のモデリングをすることができ、建築基本設計図面を描画できる。<br>4) 与えられたCAD/3DCADによる建築基本設計図面の課題を自ら描画できる。  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     | ◎   |    |   |     | 3 3 1 331 |
| 専門科目 | 建築基本製図     | 1年次  | 2単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。<br><br>【到達目標】受講者はこの授業を履修することによって以下のことができるようになる。<br>1. 図面作成の基本となる諸事項(線の種類、建築記号、製図文字など)が理解できる。<br>2. 正しい縮尺や寸法で美しい図面を描くことができる。<br>3. 自らの設計意図を図面で表現できる。   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     | ◎   |    |   |     | 3 1 1 311 |

| 科目区分 | 科目名         | 開講年次 | 単位  | 必修選択の別 | 学習・教育目標及び到達目標  | 1   |     |     |     | 2   |     |     |     | 3   |     | ナンバリング |     |     |    |     |
|------|-------------|------|-----|--------|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|----|-----|
|      |             |      |     |        |  | (A) | (B) | (C) | (D) | (E) | (F) | (G) | (H) | (I) | (J) | 百の位    | 十の位 | 一の位 | 合計 |     |
| 専門科目 | 建築演習        | 1年次  | 2単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。<br>チームで課題解決ができる。<br>新しいことに挑戦できる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 建物の平面・断面・骨組みの実測図を作成できる。<br>2. RC造階段の実測図を作成できる。<br>3. 在来木造建築の仕組み、それらの部材名と標準的な寸法が確認できる。            |     | ◎   |     |     |     |     |     | ◎   | ○   |     |        | 3   | 1   | 2  | 312 |
| 専門科目 | 建築設計製図      | 2年次  | 2単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。<br><br>【到達目標】<br>1.1級建築士製図(RC)及び2級建築士製図(木造)が理解出来る。<br>2.建築設計のプロセスが理解できる。<br>3.図面・模型を用いたプレゼンテーション技術を習得することができる。<br>4.自ら考えたコンセプトを図面や模型を用いて表現することができる。                                       |     | ◎   |     |     |     |     |     |     |     |     |        | 3   | 2   | 3  | 323 |
| 専門科目 | 木造住宅設計学     | 2年次  | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 木造建物の配置計画手法、各室の平面計画手法を理解できる。<br>2. 木造建物の床伏図、小屋伏図を作成することができる。<br>3. 木造建物の壁量計算ができる。   |     | ◎   |     |     |     |     |     |     |     |     |        | 3   | 2   | 1  | 321 |
| 専門科目 | 建築設計演習 I    | 2年次  | 2単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。<br>建築計画を理解し図面作成ができる。<br>新しいことに挑戦できる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 木造住宅の平面図、立面図、断面図、模型などが適切に表現できる。<br>2. 小規模な鉄筋コンクリート造建築の平面図、立面図、断面図、模型などが適切に表現できる。             | ◎   | ◎   |     |     |     |     |     |     |     |     |        | 3   | 2   | 2  | 322 |
| 専門科目 | 建築設計演習 II   | 3年次  | 4単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。<br>新しいことに挑戦できる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 美術館の計画・設計手法を学び、その平面図、断面図、模型などを適切に表現できる。<br>2. 集合住宅の計画・設計手法を学び、その平面図、断面図、模型などを適切に表現できる。                            | ◎   |     |     |     |     |     |     |     | ◎   |     |        | 3   | 3   | 3  | 333 |
| 専門科目 | 建築設計演習 III  | 3年次  | 4単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。<br>建築計画を理解し図面作成ができる。<br>新しいことに挑戦できる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1.課題設計能力が身につく。<br>2.構成・表現力が身につく。<br>3.設計完成度が高くなる。<br>4.プレゼンテーション力が身につく。                         | ◎   |     | ○   |     |     |     |     |     | ◎   |     |        | 3   | 3   | 4  | 334 |
| 専門科目 | 建築設計・集中演習 I | 3年次  | 1単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。<br>チームで課題解決ができる。<br>新しいことに挑戦できる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 集合住宅の種々の設計事例を知ることができる。<br>2. 設定したコンセプトを図面と模型で表現することができる。<br>3. グループで議論しながら、ひとつの設計案にまとめ上げることができる。 | ◎   |     |     |     |     |     |     |     | ◎   | ◎   |        | 3   | 3   | 1  | 331 |



| 科目区分 | 科目名       | 開講年次 | 単位  | 必修選択の別 | 学習・教育目標及び到達目標  | 1   |     |     |     | 2   |     |     |     | 3   |     | ナンバリング |     |     |    |     |
|------|-----------|------|-----|--------|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|----|-----|
|      |           |      |     |        |  | (A) | (B) | (C) | (D) | (E) | (F) | (G) | (H) | (I) | (J) | 百の位    | 十の位 | 一の位 | 合計 |     |
|      |           |      |     |        | 【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. パッシブ設計理論の基本的な考え方を把握できる。<br>2. 様々なパッシブ設計事例を知ることができる。<br>3. 自らのオリジナルのパッシブ設計手法を考案できる。  | ◎   |     |     |     |     |     | ◎   |     |     |     |        | 3   | 1   | 1  | 311 |
| 専門科目 | 建築環境Ⅰ・同演習 | 2年次  | 2単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】環境設備がわかる。<br>環境問題を理解し意匠設計ができる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 建築における熱伝導、熱対流、熱放射、熱貫流の計算ができる。<br>2. 自然室温の計算ができる。<br>3. 壁表面や内部における結露の判定ができる。<br>4. 快適性評価指標について理解できる。<br>5. 換気計算の基本を理解できる。   | ◎   |     |     |     |     |     | ◎   |     |     |     |        | 3   | 2   | 2  | 322 |
| 専門科目 | 建築環境Ⅱ・同演習 | 2年次  | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】環境設備がわかる。<br>環境問題を理解し意匠設計ができる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 太陽位置の計算ができる。<br>2. 日影図、日影時間図の作成ができる。<br>3. 日照図表を利用した日照時間の検討ができる。<br>4. 自然照明と人工照明の基本を理解できる。<br>5. 建築音響と騒音防止の基本を理解できる。   | ◎   |     |     |     |     |     | ◎   |     |     |     |        | 3   | 2   | 3  | 323 |
| 専門科目 | 建築設備Ⅰ・同演習 | 3年次  | 2単位 | 必須科目   | 【学習・教育目標】環境設備がわかる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 各種空調方式の特徴を理解できる。<br>2. 空調負荷計算ができる。<br>3. 空気線図の使い方がわかる。<br>4. 主要な空調機器の仕組みを理解できる。<br>5. 空調配管・ダクトの計算ができる。  |     |     |     |     |     |     |     | ◎   |     |     |        | 3   | 3   | 1  | 331 |
| 専門科目 | 建築設備Ⅱ・同演習 | 3年次  | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】環境設備がわかる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 各種給水・給湯・排水・通気方式の特徴を理解できる。<br>2. 給水管計算ができる。<br>3. 排水管・通気管計算ができる。<br>4. 消火設備の基本を理解できる。<br>5. 建築電気設備の概要を理解できる。   |     |     |     |     |     |     |     | ◎   |     |     |        | 3   | 3   | 2  | 332 |
| 専門科目 | 静定力学・同演習  | 1年次  | 2単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】構造力学を理解し構造解析ができる。<br>構造設計を理解し構造計画ができる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 力および力の釣り合い式の意味が理解でき、示力図、連力図を作成できる。<br>2. 力の釣り合い式を用いて、静定はり・ラーメンの反力を求めることができる。<br>3. 力の釣り合い式を用いて、静定はり・ラーメンの応力を求め、応力図を作成することができる。<br>4. 力の釣り合い式を用いて、静定トラスの応力を求めることができる。 |     |     | ○   | ◎   |     |     |     |     |     |     |        | 3   | 1   | 1  | 311 |

| 科目区分 | 科目名        | 開講年次 | 単位  | 必修選択の別 | 学習・教育目標及び到達目標   | 1   |     |     |     | 2   |     |     |     | 3   |     | ナンバリング |     |     |    |   |     |     |
|------|------------|------|-----|--------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|----|---|-----|-----|
|      |            |      |     |        |   | (A) | (B) | (C) | (D) | (E) | (F) | (G) | (H) | (I) | (J) | 百の位    | 十の位 | 一の位 | 合計 |   |     |     |
| 専門科目 | 材料力学・同演習   | 1年次  | 2単位 | 必修科目   | <p>【学習・教育目標】構造力学を理解し構造解析ができる。<br/>構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br/>1. 応力、応力度、歪度(変形)、変位の関係が理解でき、応力度、歪度、変位等の計算ができる。<br/>2. 断面の図心、断面2次モーメント、断面の主軸、主断面2次モーメントが計算できる。<br/>3. 断面に生じる最大応力度を計算でき、許容応力度との比較により安全性を検討できる。<br/>4. 座屈荷重および座屈応力度を計算できる。</p>   |     |     | ◎   | ◎   |     |     |     |     |     |     |        |     | 3   | 1  | 2 | 312 |     |
| 専門科目 | 不静定力学Ⅰ・同演習 | 2年次  | 2単位 | 選択科目   | <p>【学習・教育目標】構造力学を理解し構造解析ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br/>1. 弾性曲線式を用いて静定はりの変位を求めることができる。<br/>2. モールの定理を用いて静定はりの変位を求めることができる。<br/>3. 仮想仕事法を用いて静定骨組(ラーメン・トラス)の変位を求めることができる。<br/>4. 仮想仕事法を用いて不静定骨組の曲げモーメントを求めることができる。<br/>5. 仮想仕事法を用いて合成骨組の曲げモーメントを求めることができる。</p>  |     |     |     | ◎   |     |     |     |     |     |     |        |     | 3   | 2  | 3 | 323 |     |
| 専門科目 | 不静定力学Ⅱ・同演習 | 2年次  | 2単位 | 選択科目   | <p>【学習・教育目標】構造力学を理解し構造解析ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br/>1. たわみ角法により、不静定ラーメンの曲げモーメントを求めることができる。<br/>2. マトリクス法により、不静定ラーメンの曲げモーメントを求めることができる。<br/>3. 固定モーメント法により、鉛直荷重に対する不静定ラーメンの曲げモーメントを計算できる。<br/>4. D値法により、水平荷重(地震荷重)に対する不静定ラーメンの曲げモーメントを計算できる。<br/>5. 仮想仕事法により、不静定ラーメンの崩壊荷重(保有水平耐力)を求めることができる。</p> |     |     |     | ◎   |     |     |     |     |     |     |        |     | 3   | 2  | 4 | 324 |     |
| 専門科目 | 構造演習       | 2年次  | 2単位 | 必修科目   | <p>【学習・教育目標】構造設計を理解し構造計画ができる。<br/>構造力学を理解し構造解析ができる。<br/>チームで課題解決ができる。<br/>新しいことに挑戦できる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br/>1. トラス、アーチ、シェル、膜構造やラーメン、テンション、折板構造などのしくみが理解できる。<br/>2. Excellによる構造解析ソフトを利用して、骨組構造の応力計算および簡易的な耐力計算ができる。<br/>3. チームで与えられた課題に取り組み、設計・制作した作品についてのプレゼンができる。</p>                         |     |     | ◎   | ◎   |     |     | ◎   | ○   | ○   |     |        |     | 3   | 2  | 1 | 321 |     |
| 専門科目 | 構造設計Ⅰ・同演習  | 2年次  | 2単位 | 必修科目   | <p>【学習・教育目標】構造力学を理解し構造解析ができる。<br/>構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br/>1. 鉛直荷重、風圧力、地震力および組み合わせ荷重の算定が理解できる。<br/>2. 耐震設計の基本的概念および構造計画の基本が理解できる。<br/>3. 鉄筋コンクリート構造の基本と部材設計の基本が理解できる。<br/>4. 鋼構造の基本と接合部設計および座屈設計の基本が理解できる。</p>   |     |     | ◎   | ◎   |     |     |     |     |     |     |        |     | 3   | 2  | 2 | 322 |     |
| 専門科目 | 構造設計Ⅱ・同演習  | 3年次  | 2単位 | 選択科目   | <p>【学習・教育目標】構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br/>1) 許容応力度設計法による鉄筋コンクリート構造部材と鋼構造部材の、断面設計や接合部設計の仕組みが理解できる。<br/>2) 簡単な部材や接合部を実際に構造設計する能力が身につく。<br/>3) 鉄筋コンクリート構造と鋼構造の部材等の名称や建方の仕組みが身につく。<br/>4) 鉄筋コンクリート構造と鋼構造の標準的なディテールの感覚が身につく。</p>   |     |     | ◎   | ◎   |     |     |     |     |     |     |        |     |     | 3  | 3 | 3   | 333 |

| 科目区分 | 科目名    | 開講年次 | 単位  | 必修選択の別 | 学習・教育目標及び到達目標  | 1   |     |     |     | 2   |     |     |     | 3   |     | ナンバリング |     |     |    |   |     |
|------|--------|------|-----|--------|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|----|---|-----|
|      |        |      |     |        |  | (A) | (B) | (C) | (D) | (E) | (F) | (G) | (H) | (I) | (J) | 百の位    | 十の位 | 一の位 | 合計 |   |     |
| 専門科目 | 建築設計Ⅲ  | 3年次  | 2単位 | 選択科目   | <p>【学習・教育目標】構造力学を理解し構造解析ができる。<br/>構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 耐震・制震・免震の違いを説明できる。<br/>2. 許容応力度等設計法と限界耐力計算法の違いを説明できる。<br/>3. 構造設計の全体の流れを理解できる。<br/>4. 鉄筋コンクリート構造、鋼構造の構造計画ができる。</p>   |     |     | ○   | ◎   |     |     |     |     |     |     |        |     | 3   | 3  | 4 | 334 |
| 専門科目 | 建築地盤工学 | 3年次  | 2単位 | 選択科目   | <p>【学習・教育目標】構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 地盤について、地形の成り立ちと地盤の良否の関係、地盤に関する災害等が理解できる。<br/>2. 地盤を構成する土の物理的性質、砂地盤の液化のしくみ、地盤改良の方法等が理解できる。<br/>3. 直接基礎の設計概要を理解し、地盤の支持力計算および沈下量計算ができる。<br/>4. 杭基礎の設計概要が理解できる。</p>  |     |     |     | ◎   |     |     |     |     |     |     |        |     | 3   | 3  | 1 | 331 |
| 専門科目 | 建築材料   | 1年次  | 2単位 | 必修科目   | <p>【学習・教育目標】生産管理がわかる。<br/>構造設計を理解し構造計画ができる。<br/>環境問題を理解し意匠設計ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 木材の基本的な特徴と辺材・心材・形成層・年輪等の木材の組織構成がわかる。<br/>2. 木材の性能を支配する要因と各種の欠点(節・割れ)が木材の品質を規定する等級やJAS規格の現状を理解できる。<br/>3. 木材の強度に影響を及ぼす各種要因(含水率・加力方向・比重等)と強度特性の関係を理解できる。<br/>4. セメントの原料と製造方法やセメント化学である水和反応・凝結・硬化作用等を理解できる。<br/>5. コンクリートの強度特性(水セメント比・応力-ひずみ曲線・ヤング係数等)の基礎が理解できる。<br/>6. 鉄鋼の基本的な特徴・変遷と圧延工程・結晶構造等の鉄鋼の組織構成がわかる。<br/>7. 鉄鋼の持つ応力-ひずみ関係を理解し、熱処理・腐食問題と炭素含有量や熱的挙動によって変化する一般的性質を理解できる。</p> | ○   |     | ○   |     |     | ◎   |     |     |     |     |        |     | 3   | 1  | 1 | 311 |
| 専門科目 | 建築構法   | 1年次  | 2単位 | 選択科目   | <p>【学習・教育目標】構造設計を理解し構造計画ができる。<br/>構造計画を理解し図面作成ができる。<br/>生産管理がわかる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 各部位の名称と役割を説明できる。<br/>2. 建物を構成する部位・部材の知識と構工法とのつながりが理解できる。<br/>3. 木質構造、鉄筋コンクリート構造、鋼構造など各種構造のしくみが理解できる。</p>   |     |     | ○   | ◎   |     |     | ◎   |     |     |     |        |     | 3   | 1  | 1 | 311 |
| 専門科目 | 建築施工   | 3年次  | 2単位 | 必修科目   | <p>【学習・教育目標】生産管理がわかる。<br/>建築倫理がわかる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 将来専門技術者となる場合に必要な建築施工の概略について理解できる。<br/>2. 建築が抱える今日的課題を建物づくりの立場から理解できる。<br/>3. 工事の準備から、土工事、地業工事、躯体工事、仕上げ工事までの建築施工の概要が理解できる。</p>  |     |     |     |     |     | ◎   | ◎   |     |     |     |        |     | 3   | 3  | 2 | 332 |
| 専門科目 | 建築生産   | 3年次  | 2単位 | 選択科目   | <p>【学習・教育目標】生産管理がわかる。<br/>建築倫理がわかる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 建設業法の基礎知識が理解できる。<br/>2. 発注、入札、請負契約に関する基礎知識が理解できる。<br/>3. 建築生産における施工管理技術について理解できる。<br/>4. 建築施工完了後の維持保全や診断技術、補修補強工事などの建築技術を理解できる。</p>  |     |     |     |     |     | ◎   | ◎   |     |     |     |        |     | 3   | 3  | 3 | 333 |

| 科目区分 | 科目名          | 開講年次 | 単位  | 必修選択の別 | 学習・教育目標及び到達目標   | 1   |     |     |     | 2   |     |     |     | 3   |     | ナンバリング |     |     |    |     |   |   |   |     |     |   |     |     |
|------|--------------|------|-----|--------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|----|-----|---|---|---|-----|-----|---|-----|-----|
|      |              |      |     |        |   | (A) | (B) | (C) | (D) | (E) | (F) | (G) | (H) | (I) | (J) | 百の位    | 十の位 | 一の位 | 合計 |     |   |   |   |     |     |   |     |     |
| 専門科目 | 建築概論         | 1年次  | 2単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】チャレンジ精神を持つ。<br>建築倫理がわかる。<br>環境問題がわかる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 卒業までに身につけるべき知識・能力を理解し、自分の目標とする技術者像を構築できる。<br>2. 建築の魅力、デザインと構造、建築の構成要素、建築に関する職業について理解できる。<br>3. 建築技術者として身につけるべき技術者倫理を理解できる。         |     |     |     |     | ◎   |     |     | ○   | ○   |     |        | 3   | 1   | 1  | 311 |   |   |   |     |     |   |     |     |
| 専門科目 | 建築法規         | 2年次  | 2単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】建築倫理がわかる。<br>環境問題を理解し意匠設計ができる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1) 建築基準法についての基礎知識を得ることができる。<br>2) 建築設計に必要な諸量を計算することができる。<br>3) 集団規定に必要な諸量を計算することができる。<br>4) 関連法規等の概略に関する基礎知識を得ることができる。                       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | ○      |     | ◎   |    |     | 3 | 2 | 1 | 321 |     |   |     |     |
| 専門科目 | 職業観と倫理       | 3年次  | 2単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】建築倫理がわかる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 建築関連の職業について理解できる。<br>2. 職業観を持ち、やってみたい仕事を見つけることができる。<br>3. 建築関連の仕事における技術者のあるべき姿がわかる。<br>4. 技術者倫理の重要性がわかる。   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     |     | ◎  |     |   | 3 | 3 | 1   | 331 |   |     |     |
| 専門科目 | 建築実験         | 3年次  | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】生産管理がわかる。<br>環境設備がわかる。<br>構造設計を理解し構造計画がわかる。<br>チームで課題解決ができる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1.コンクリート、木材、鋼材の材料強度特性が理解できる。<br>2.鉄筋コンクリート構造におけるコンクリートの材料強度および部材性能が理解できる。<br>3.建築空間における室内温熱環境、CO2濃度、昼光率が理解できる。 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     |     |    | ◎   | ◎ | ○ | ◎ |     | 3   | 3 | 1   | 331 |
| 専門科目 | フレッシュマンゼミナール | 1年次  | 1単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】チームで課題解決ができる。<br><br>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1. 挑戦力が身につく。<br>2. コミュニケーション力が身につく。<br>3. プレゼンテーション力が身につく。  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     |     |    |     | ◎ |   |   | 3   | 1   | 1 | 311 |     |
| 専門科目 | インテリアデザイン論   | 2年次  | 2単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。<br><br>【到達目標】近代建築の成り立ち・歴史・背景、広島の歴史的建築物、美術館建築、公共建築、住宅建築、宗教建築、まちづくりと建築家の関わりから、ヒト・生活・文化について理解できる。   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        | ○   |     |    |     |   |   |   | 3   | 2   | 1 | 321 |     |
| 専門科目 | インテリア設計演習    | 2年次  | 2単位 | 必修科目   | 【学習・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。<br>環境問題を理解し意匠設計ができる。<br><br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>室内透視図、空間の設計、ショールームの見学等を通して、設計者に不可欠な計画技能を身につけ、言葉や図面に加え、説得力のある表現の手段を獲得する。   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        | ○   | ○   |    |     |   |   |   | 3   | 2   | 2 | 322 |     |
| 専門科目 | 色彩・照明論       | 2年次  | 2単位 | 選択科目   | 【学習・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。<br>環境設備がわかる。<br><br>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br>1.「色と光」の使い方のバリエーションや空間の実例を知ること目標としている。  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        | ○   |     |    |     |   | ○ |   |     | 3   | 2 | 1   | 321 |

カリキュラムマップ  
工学部 建築学科 インテリアデザインコース

| 科目区分 | 科目名        | 開講年次 | 単位  | 必修選択<br>の別 | 学習・教育目標及び到達目標   | 1   |     |     |     | 2   |     |     |     | 3   |     | ナンバリング |     |     |    |   |     |     |
|------|------------|------|-----|------------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|----|---|-----|-----|
|      |            |      |     |            |   | (A) | (B) | (C) | (D) | (E) | (F) | (G) | (H) | (I) | (J) | 百の位    | 十の位 | 一の位 | 合計 |   |     |     |
| 専門科目 | インテリアエレメント | 3年次  | 2単位 | 選択科目       | <p>【学習・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br/>1. 床材、壁・天井材について、素材性を知りそれらを使い分ける能力を得る。<br/>2. 窓まわり、照明器具・照明計画、建具、家具、設備についての知識を得る。</p>  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     | 3   | 3  | 1 | 331 |     |
| 専門科目 | インテリア制作    | 3年次  | 2単位 | 必修科目       | <p>【学習・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。<br/>新しいことに挑戦できる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。<br/>1. デザインと社会との深い関わりにも目を向け、優れたデザイン観、デザインプロセスを知り、審美眼を養う。<br/>それによって、建築との関わりやバランスのとれた空間創造ができる能力の獲得を目指す。</p>  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     | 3   | 3  | 3 | 333 |     |
| 専門科目 | 卒業研究ゼミナール  | 3年次  | 1単位 | 必修科目       | <p>【学習・教育目標】建築倫理がわかる。<br/>新しいことに挑戦できる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br/>1. 卒業研究および将来の職業に必要な基礎的な知識を修得できる。<br/>2. 卒業研究着手に必要な知識、能力等を理解できる。</p>  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     | 3   | 3  | 1 | 331 |     |
| 専門科目 | 卒業研究       | 4年次  | 4単位 | 必修科目       | <p>【学習・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。<br/>構造力学を理解し構造解析ができる。<br/>チームで課題解決ができる。<br/>新しいことに挑戦できる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。<br/>1. 自主的、継続的に学習する能力を身につけることができる。<br/>2. チームで勉強や課題に取り組む能力を身につけることができる。<br/>3. 課題設定能力、課題解決能力を身につけることができる。<br/>4. 論文、概要、設計図面・模型、制作図面・模型等を期限までに完成させることができる。<br/>5. まとめた論文、設計図面・模型、制作図面・模型について発表(説明)することができる。</p> |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     |     | 4  | 4 | 2   | 442 |